

令和5年度 神戸市市民福祉調査委員会 議事要旨

○日 時 令和5年12月21日（木）午後1時15分～午後2時45分

○場 所 危機管理センター1階本部員会議室、オンライン

○議 題

1. “こうべ”の市民福祉総合計画2025 令和4年度評価について

○報 告

(1) 第9期神戸市介護保険事業計画・神戸市高齢者保健福祉計画の策定状況について

(2) 第7期神戸市障がい福祉計画・第3期神戸市障がい児福祉計画の策定状況について

→事務局より各内容について資料に基づき説明

【主な意見】

議題1. “こうべ”の市民福祉総合計画2025 令和4年度評価について

○委員

海外の方の子育て環境という視点を今後入れていただきたい。家庭の環境などにより生じる言語の問題について対応を検討すべきであり、神戸で子育てしようとしている方たちの中に、一定のリスクを持った方がいることを考慮する必要がある。

○委員

民生委員の負担軽減について、業務量の削減や取組み方の変更、増員などの対策が考えられるが、どのように負担を軽減させていこうと考えているか。

→○委員

例えば、マンションなどを住居とする方が増えているため、民生委員側が一軒一軒を訪問するのではなく、集会所を借りてカフェを開いて対象者に来てもらうようにするなど、それぞれの地区で工夫している。また子育て支援などについても、クリスマスなどのイベントやこどもレストランなどを実施して、一箇所に集まって貰った際に主任児童委員が対応するなど、時代に合わせて効率を考えるようにしている。

○委員

神戸市の民生委員の充足率の推移はどうか。

→●事務局

民生委員は大体3年ごとに改選を行っており、その充足率は、平成28年度は94.8%、令和元年度は92.8%、令和4年度で90.5%と、改選ごとに減っている状況である。

○委員

民生委員はどれくらいの経費を受け取っているのか。実費弁償の金額はどのくらいか。

→●事務局

令和4年度までは年額約80,200円、令和5年度からは5万円上乗せして年額約130,200円を実費弁償費としてお渡ししている。

報告1. 第9期神戸市介護保険事業計画・神戸市高齢者保健福祉計画の策定状況について

○委員

神戸市においては、既にコウベdeカイゴによる積極的なサポートを実施しており、この5年間で外国人介護人材の雇用者数は確実に増加している。今後も引き続き、神戸への外国人人材の呼び込みを、積極的に取り組んでいただきたいと思っている。

○委員

経済状況の変化などもあり、日本へ来られる外国人人材の出身国も変化し、日本で働く魅力があるかも分からない状況だと思うが、今回の計画策定で目指す具体的な展開を聞きたい。

→●事務局

ご指摘どおり、経済発展の状況などにより、その都度、状況が変化するものであるが、海外の方から働き先として選ばれる都市になることは極めて重要と考えている。コウベdeカイゴの特設サイトでは、海外の方向けの情報発信を行っているほか、実際に神戸の施設で働いている海外の方のインタビュー記事も掲載している。こうした地道な取り組み以外にも、実際の現場や事業者団体の声を聴きながら、新しい施策を展開していきたいと考えている。

○委員

日本語が他の言語に比べて難しいため、外国人人材が定着しないという話も聞いており、外国人介護人材の定着という観点では、言葉のサポートが極めて重要と思う。

報告2. 第7期神戸市障がい福祉計画・第3期神戸市障がい児福祉計画の策定状況について

○委員

障がい児にとって、幼児から学齢期になり、そこから更に大人になっていく際の、区切

りにおける支援の切れ目をどうなくすかが課題だと考えている。

○委員

ライフステージを通じた支援が非常に大切だと考えており、現在様々な委員会で、就学前から、就学中、就学が終わってからの就労までを一緒にサポートできる形の支援について議論をすすめており、出来る限りスムーズな支援体制を構築したいと考えている。特に医療的ケア児支援法は新しくできた法律であることから、それに伴う医療的ケア児コーディネーターの役割などは、かなり細かく詰めることができたと思う。